

National

電気温水器 取扱説明書

屋内設置型

品番 DH-150E1Z DH-150E1ZB
DH-200E1Z DH-200E1ZB

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	4
●電気温水器本体	4
●本体周辺	5
ご使用前の準備	6
温水器を使う	7
●毎日のご使用に際してのお願い	7
●沸き上げ湯温を設定する	7
点検とお手入れ	8
●日常のお手入れ	8
●1ヵ月に1回のお手入れ	8
●停電したときは	9
●凍結のおそれがあるときは	9
●長期間使用しないときは	10
●試運転チェック/据付工事後の確認	11
●定期点検契約について	11
故障かな!?	12
保証とアフターサービス	14
仕様	裏表紙

はじめに

使いかた

お手入れ・保証



上手に使うって上手に節電

保証書別添付

工事説明書 別添付

このたびは電気温水器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- お買い上げの機種の商品番号は、本体のネームプレートまたは、保証書でご確認ください。
- 商品番号の末尾に「B」が付く機種はBL認定品です。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害・物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

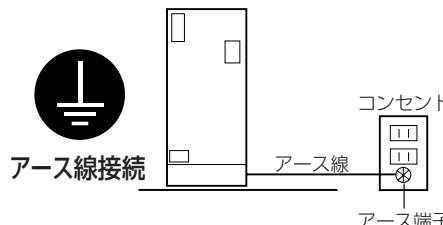
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

警告

アース工事を確認する



アース線接続 アース線 コンセント アース端子

アース工事がされないと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

- アース工事を販売店にご依頼ください。

近くにガス類容器や引火物を置かない



禁止

LPガス

温水器の電気部品のスパークで、発火することがあります。

給湯時は湯水混合水せんに手をふれない

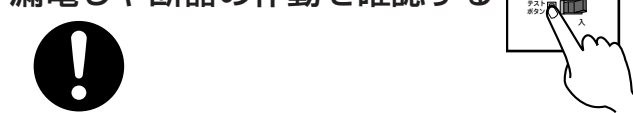


給湯つまみ(赤)

接触禁止

やけどをするおそれがあります。

漏電しゃ断器の作動を確認する



！

万一の不作動で、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。1ヵ月に1回作動確認してください。

- 故障の場合は販売店にご相談ください。

逃し弁の点検時、排水時は逃し弁や排水管に手をふれない



接触禁止

配管部や熱湯でやけどをするおそれがあります。

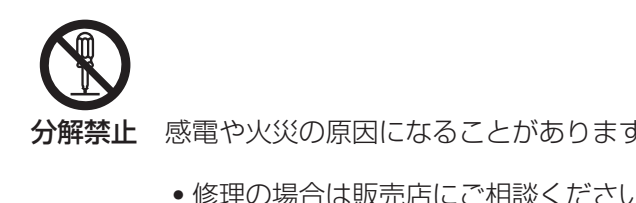
温水器の前板を開けない



分解禁止

感電するおそれがあります。

分解・修理・改造しない



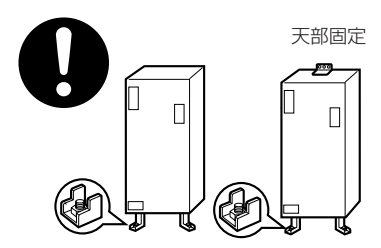
分解禁止

感電や火災の原因になることがあります。

- 修理の場合は販売店にご相談ください。

注意

脚のアンカーボルト固定を確認する



！

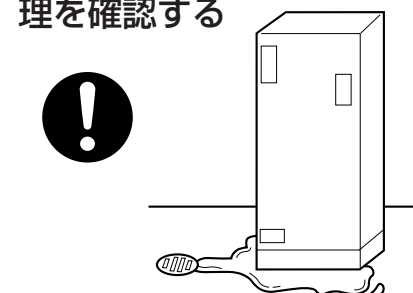
天部固定

3カ所 2カ所

地震などによって本体が転倒してけがをするおそれがあります。

- 固定していない場合は販売店にご相談ください。

床面の防水処理・排水処理を確認する

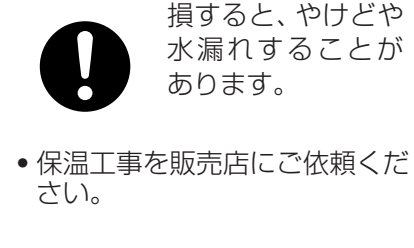


！

万一の漏水のときに階下などに被害をおよぼすおそれがあります。

- 販売店にご相談ください。

配管の保温工事を確認する

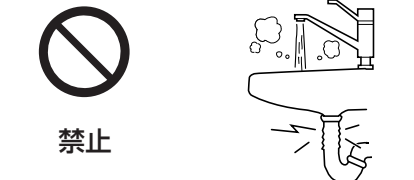


！

配管が凍結して破損すると、やけどや水漏れすることがあります。

- 保温工事を販売店にご依頼ください。

あつい湯を直接流さない



禁止

あつい湯により、やけどをしたり、排水管を傷めることがあります。

- 水と混合して流してください。

タンクを満水にしてから通電する



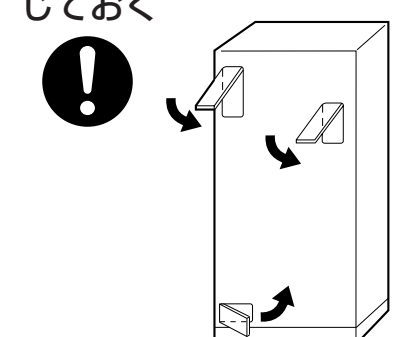
！

給湯つまみ(赤)

タンクに水を入れずに通電すると過熱し、故障の原因となります。

- 給湯つまみ(赤)を開き水が出ることを確かめてから、漏電しゃ断器を「入」にしてください。

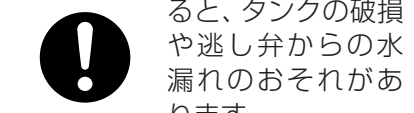
本体操作部、逃し弁点検、排水せん点検のふたは閉じておく



！

開いていると水やごみが入り、漏電や感電の原因となります。

逃し弁の作動を確認する



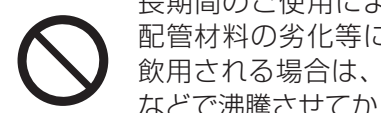
！

故障のまま使用すると、タンクの破損や逃し弁からの水漏れのおそれがあります。

1ヵ月に1回作動確認してください。

- 故障の場合は、販売店にご相談ください。

そのまま飲用しない



禁止

長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、やかんなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水質基準に適合した水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。

固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

長期間使用しないときはタンクの水をぬく

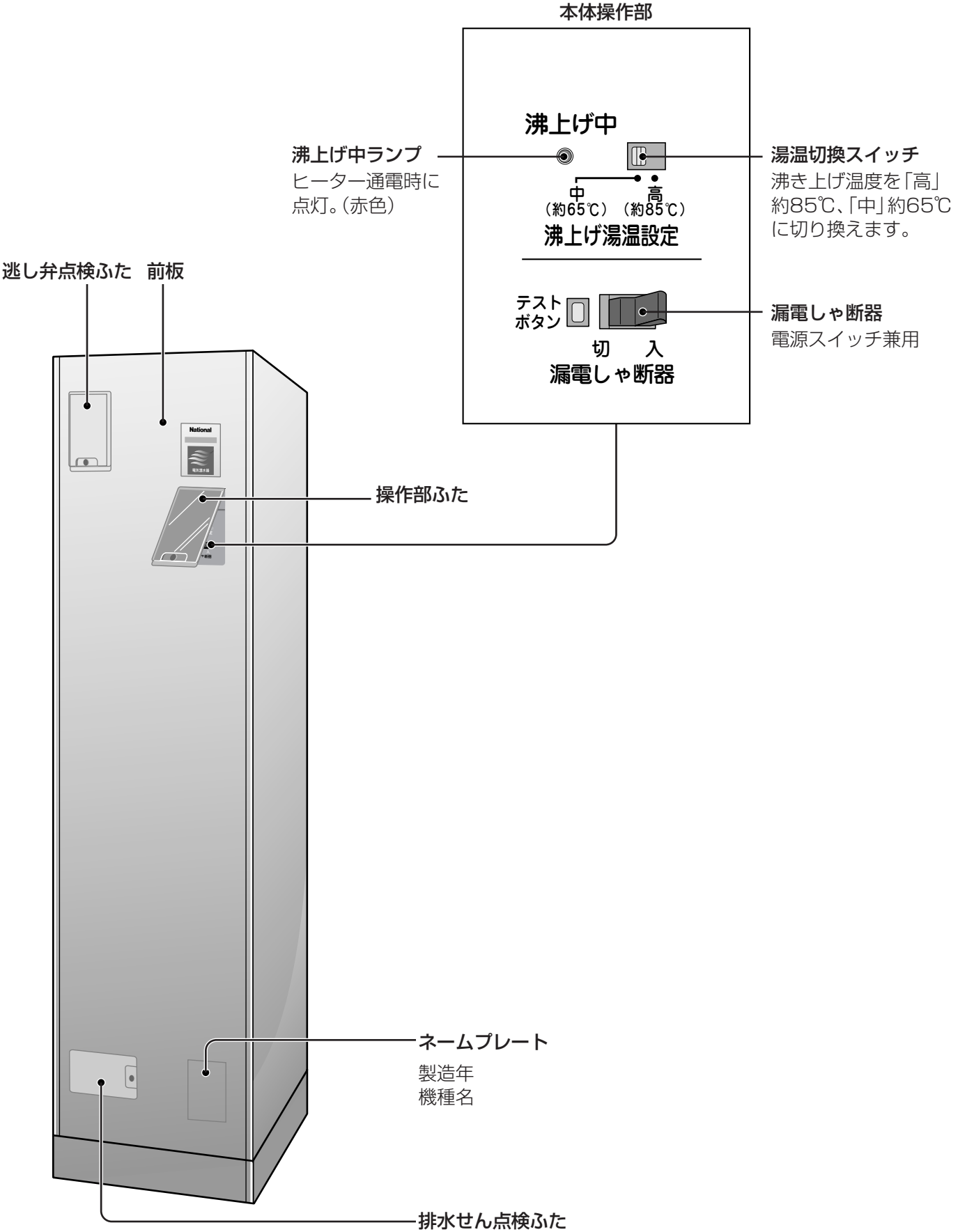


！

1ヵ月以上使用しないと水質が変化することがあります。

各部のなまえ

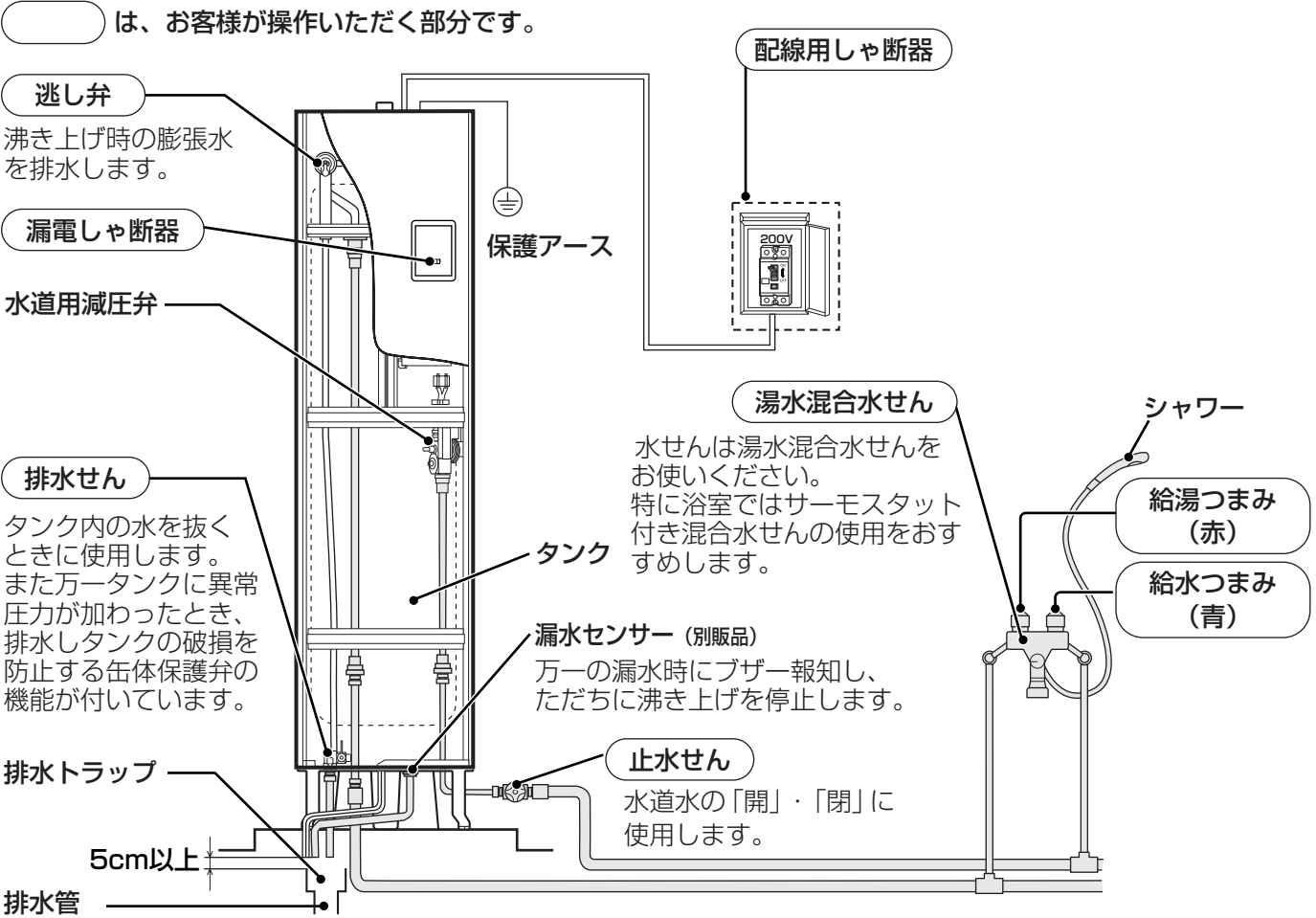
電気温水器本体



本体周辺

屋内標準配管（例）

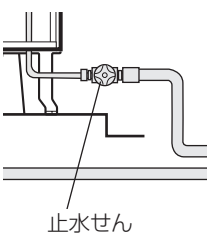
- 万一の水漏れを考慮して、漏水センサー（別販品）の取り付けと、床面の防水処理、および排水処理を行ってください。
- 地域や設置場所により工事内容が若干変わります。



取付け工事のご確認

専用止水せんが取り付けられていることを確認する

止水せんがないと故障のときに給水を止めることができません。



- お知らせ
- タンク内は、水道用減圧弁で一定の水圧に調整され、常に満水状態を維持しています。
 - 湯水混合水せんのつまみ（赤）を開くと、水道水がタンクに給水されタンク内の湯を押し上げて湯水混合水せんより給湯します。
 - 給水装置にかかわる修理は販売店（工事店）に連絡してください。
 - BL認定品：電気温水器のBL保証範囲は、本体及び本体に当初から内蔵された部材で、それ以外の配管・部材は含まれません。

はじめに

ご使用前の準備

初めてお使いになるとき、長期間使用されていなかったときは次の操作を行ってください。

- 1

排水せんを「閉」にし、配管の止水せんを「開」にする（ 5ページ）
- 2

湯水混合水せんの給湯つまみ（赤）を開く
 - 約15～20分でタンクが満水になります。湯水混合水せんから水が出始めた後、しばらく流し洗いをしてください。操作の方法は湯水混合水せんのタイプによって異なります。
- 3

湯水混合水せんの給湯つまみ（赤）を閉じ、給水つまみ（青）を開く
 - しばらく流し洗いをしてください。
- 4

湯水混合水せんの給水つまみ（青）を閉じる
- 5

配線用しゃ断器を「入」にする
- 6

漏電しゃ断器を「入」にする
 - 沸き上げが始まると本体操作部の「沸上げ中ランプ」（赤色）が点灯します。
- 7

使用湯量を設定する（ 7ページ）
-
- ## 翌朝からお湯が使えます
- ※ やけど防止のため、湯水混合水せんの湯温調節つまみを「低」側にしてから、給湯つまみを開き、お湯をお使いください。
- # 温水器を使う
- ## 毎日のご使用に際してのお願い
- 配線用しゃ断器、漏電しゃ断器は「入」の状態でご使用ください。
-
- 次のように多量のお湯を使用すると、湯量不足の原因になりますのでご注意ください。

 - 入浴のたびにお湯を入れ替えたり、1日2回以上入浴したとき。
 - 来客などで入浴人数が増えたとき。
 - 食器洗いや洗濯などで、湯を流し洗いたとき。
 - 深夜通電時間帯に多量のお湯を使用したとき。
（翌日の湯量が少なくなることがあります）
- ## 沸き上げ湯温を設定する
- ### ■ 本体操作部で沸き上げ湯温を設定する
- 湯温切換スイッチを操作すると、「高」約85℃・「中」約65℃に沸き上げ湯温が切り換えられます。
-
- 通常は「高」約85℃に設定してください。
 - 「夏期」など、お湯の使用量が少ない季節には「中」約65℃に切り換えてください。
-
- はじめに
- 使いかた
- 6
- 7

点検とお手入れ

日常のお手入れ

■ 本体のお手入れ

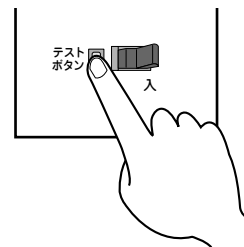
乾いた布でふくか、台所用洗剤（中性洗剤）をうすめて布に含ませてふいてください。

※ シンナーなどの溶剤でふくと、変質することがありますので教えてください。

1カ月に1回のお手入れ

■ 漏電しゃ断器の作動確認

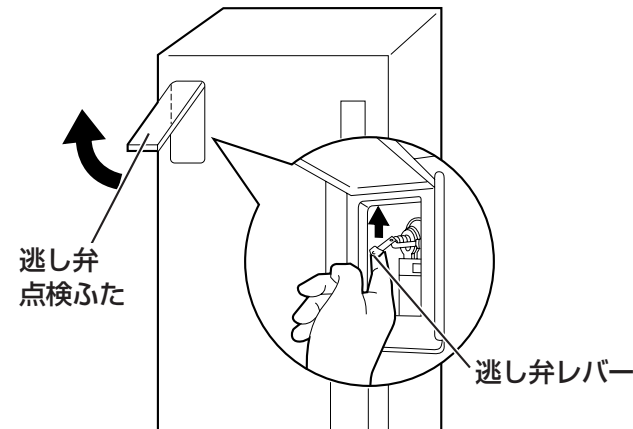
- 1 本体の操作部ふたを開け、電源ランプ（緑色）点灯中に、テストボタンを押す
- 2 漏電しゃ断器が「切」になることを確認する
- 3 漏電しゃ断器を「入」にし、本体の操作部ふたを閉める



■ 逃し弁の点検

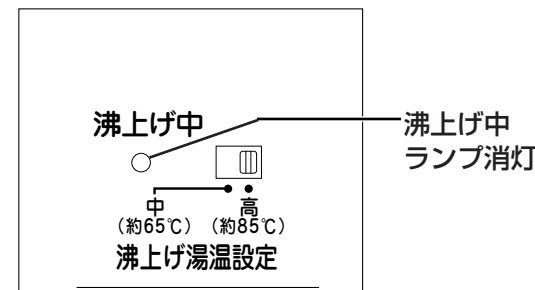
作動点検

- 1 前板の逃し弁点検ふたを開け、逃し弁レバーを上げる
- 2 排水管からお湯（水）が出ることを確認する
- 3 逃し弁レバーを下げ、排水管からのお湯が止まるかを確認する
- 4 逃し弁点検ふたを閉める



水漏れ点検

- 1 本体操作部の「沸上げ中ランプ」（赤色）が消灯時に排水管からお湯（水）が出ていないかを確認する



▶ 排水管からお湯（水）が出ている場合は…

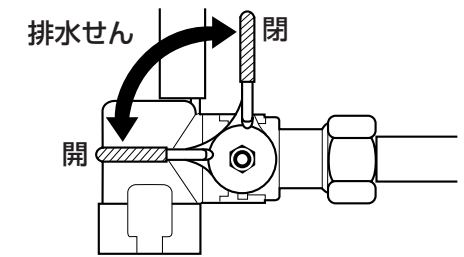
逃し弁レバーを数回上下に動かし、レバーを下げたときに排水管からお湯（水）が止まるかを確認してください。

※ 上記の操作を行っても排水管からお湯（水）が出つづけている場合は、販売店にご連絡ください。

■ タンクの掃除

（残湯量の少ないときに行ってください）

- 1 本体の操作部ふたを開け、漏電しゃ断器を「切」にする
- 2 止水せんを閉める
- 3 前板の逃し弁点検ふたを開け、逃し弁レバーを上げる
- 4 本体の排水せん点検ふたを開け、本体内部の排水せんを開けて約2分間排水する
※ お湯が出てくる場合があります。やけどにご注意ください。
- 5 排水せんを閉め、排水せん点検ふたを閉める
- 6 逃し弁レバーを下げる
- 7 止水せんを開ける
- 8 給湯つまみ（赤）を開き、水（お湯）が出ることを確認後、漏電しゃ断器を「入」にし、本体の操作部ふたを閉める



警告

排水時は排水や排水管に手をふれない



■ 本体の水漏れ点検

- 1 電気温水器を設置した床面に水が漏れていないか確認する
※特に集合住宅では、漏水が階下へ被害をあたえます。

停電したときは

- 沸き上げ中に停電したときは、停電復帰後に沸き上げを再開しますが、停電が長時間の場合は設定湯量まで沸き上がらないことがあります。

凍結のおそれがあるときは

- 本体操作部の漏電しゃ断器を「入」のままにしておいてください。
- 給水配管、給湯配管の凍結防止ヒーターのコンセントを入れてください。（凍結防止ヒーターが取り付けられている場合のみ）
※配管に水がない状態では絶対に凍結防止ヒーターに通電しないでください。

点検とお手入れ (つづき)

長期間使用しないときは

■ 電気温水器の水抜き

- 1 配線用しゃ断器・漏電しゃ断器を「切」にする
- 2 湯水混合水せんの給湯つまみ (赤)・給水つまみ (青) を開き、水と混合しながら熱いお湯がなくなるまで給湯する
- 3 給水つまみ (青)・止水せんを閉じる
- 4 逃し弁レバーを上げる
- 5 排水せん点検ふたを開け、本体内部の排水せんを開ける
- 6 排水終了後、湯水混合水せんの給湯つまみ (赤)・排水せんを閉じる
- 7 逃し弁レバーを下げる
- 8 排水せん点検ふたを閉める

▶ 再びご使用になるときは…
「ご使用前の準備」 (16 ページ) に従ってください。

■ 1ヵ月以内の、比較的短期間使用しないときは

- 1 本体操作部の漏電しゃ断器を「切」にする
- 2 止水せんを閉じる

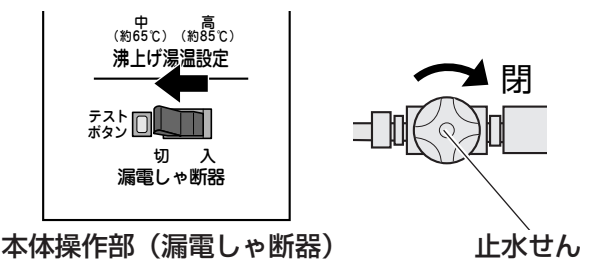
▶ 再びご使用になるときは…
タンク内の水を入れ替えてからご使用ください。

⚠ 注意

長期間使用しないときはタンクの水をぬく

!

1ヵ月以上使用しないと水質が変化することがあります。



ミニ情報

■ タオル、タイル目地などが青くなることがあります

使用地域の水質により、ごくまれに薄青くなることがあります。これは、水中に含まれるわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸とが反応しておこるもので、人体には害はありません。井戸水や簡易水道での使用時に比較的小さい現象です。

- タオルや布の場合
70～80℃のお湯に食酢を混ぜて10～15%溶液を作り、浸漬すると脱色します。
- 浴そうやタイル目地の場合
アンモニア水 (10%溶液) を少量滴下して、スポンジなどでよくこすり、食酢などで中和し、水で洗い流してください。
(一般家庭用のクレンザーなどでも落とせますが、あまり強くこすると傷がつきますのでご注意ください)

参考：社団法人 日本銅センター発行「銅と衛生」

試運転チェック/据付工事後の確認

次のチェック表にもとづき販売店 (工事店) と共に点検をしてください。(地域や設置場所により工事の内容が若干標準配管例と異なることがあります)
なお、この表は後日、メンテナンスのときに必要となりますので保管しておいてください。

	点 検 項 目	チェック		点 検 項 目	チェック
安全項目	本体脚部は、アンカーボルトで固定していること		配管まわり	金属配管の場合、給水・給湯配管に絶縁パイプを使用すること	
	床に防水処理、及び漏水時の排水処理をしていること			給水・給湯配管の水漏れはないこと	
	漏電しゃ断器は、テストボタンで「切」になること			保温工事を施していること	
	アース (接地) 工事は、接地抵抗100Ω以下のこと			凍結地域では、加温工事を施していること	
	本体上部は強度のある壁に固定していること			部品をはずしやすいようにユニオン継手を使用していること	
本体まわり	近くにガス類容器や引火物を置いていないこと		試運転	排水せん (排水管・缶体保護弁排水ホース・空気取入口ホース)・漏水センサーから排水トラップへ配管していること	
	コンクリート基礎台を設けていること			減圧弁のストレーナーを掃除すること	
	点検スペースは前部80cm・上部25cm以上のこと			工事説明書の内容に従って電気温水器の試運転を確認すること	
	本体まわりの給水接続部に止水せんが取り付けられていること				

定期点検契約について

電気温水器を長期間にわたり、安全で快適にご使用いただくためには3年に一度、専門技術者による定期点検整備を行ってください。
設置条件、使用条件・特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な交換が必要です。

■ 定期点検整備契約の実施について

- お申込み先 —— お買い上げの販売店
- 点検整備内容 —— 安全性の点検整備・システム機能の点検整備 (配管など)・消耗・劣化しやすい部品の交換
- 定期点検費用 —— 定期点検整備は、お客様のご負担によって実施します。
消耗・劣化しやすい部品で交換した部品代もご負担いただきます。

■ 定期点検整備の主な内容

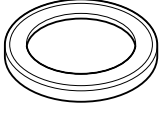
項 目	点検整備の内容
据 付 状 態 の 点 検	● 配管接続部の水漏れ確認 ● 電気絶縁チェック ● 配管保温材の確認
機 能 部 品 の 点 検	● 逃し弁の水漏れ確認 ● シーズヒーターの点検
清 掃 ・ 整 備	● 水道用減圧弁の点検
	● タンク下部のスケール沈殿物の排出

■ 部品交換について

ヒーターパッキン、水道用減圧弁、逃し弁は消耗部品です。使用水質によっては、3年程度で消耗・劣化しやすい部品があります。点検の結果、部品交換が必要なものは交換します。

ヒーターパッキン 本体部品

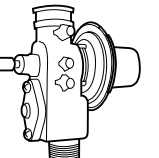
使用水質によっては、ヒーターパッキンが劣化し、水漏れの原因になりますので交換が必要です。ヒーターを取りはずした場合には水漏れ防止のため、ヒーターパッキンの交換が必要です。



ヒーターパッキン

水道用減圧弁 配管部品

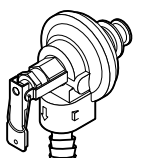
使用水質によっては、減圧弁のダイヤフラム (ゴム製) や弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



水道用減圧弁

逃し弁 配管部品

使用水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。

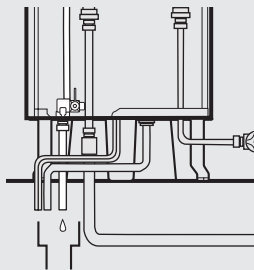
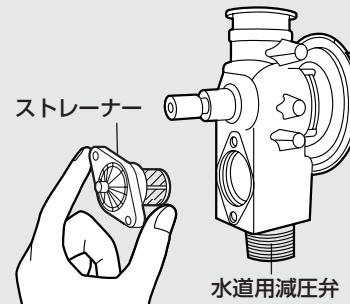


逃し弁

故障かな!?

こんなときは	故障ではありません
深夜通電時間帯の終了時間よりも早く沸き上がる	▶ 残湯量が多いときは、通電終了時間よりも早く沸き上がります。
湯温が少し変化する	▶ 以下のときにお湯を出すと、若干湯温が低下することがあります。 ● 深夜通電時間帯で沸き上げを開始して、しばらくの間。
断水の時、お湯が出ない	▶ 断水の時とはタンク内へ給水されないため、お湯が出ません。 下記の処置をしてください。 1. 本体操作部の漏電しゃ断器を「切」にする 2. 止水せんを閉じる 再びご使用になるときは、止水せんを開け、湯水混合水せんからお湯または水が出ることを確認して、漏電しゃ断器を「入」にしてください。
逃し弁から水が漏れる	▶ 「沸上げ中ランプ」(赤色)が点灯中はタンク内の水が膨張し、逃し弁が作動して排水管から徐々に水またはお湯が出ますが、故障ではありません。

こんなときは販売店にご連絡ください

こんなときは	処置方法
逃し弁から水が漏れるとき 	▶ 運転中以外(本体操作部の「沸上げ中ランプ」(赤色)が消えているとき)に排水管より水が漏れているときは、逃し弁の故障です。 逃し弁が故障したまま使用されますと、沸き上がったお湯が逃し弁より漏れて、湯量不足がおこったり、湯温が低くなったり、水道代・電気代が平常月より高くなることがあります。 ※「沸上げ中ランプ」(赤色)が点灯中はタンク内の水が膨張し、逃し弁が作動して排水管から徐々に水またはお湯が出ますが、故障ではありません。
湯の出が悪くなったとき 	▶ 水道用減圧弁のストレーナーにゴミなどがつまっていることがあります。 販売店の方へ ● 掃除の方法 やけど防止のため次の手順で行ってください。 1. 漏電しゃ断器を「切」にした後、「長期間使用しないときは」(10ページ)の項に従って排水する。 2. 排水後、ストレーナーのふたをはずし、あみを掃除する。 3. ストレーナーのふたを閉め、「ご使用前の準備」(6ページ)の項に従って再びご使用ください。
漏水報知が鳴ったとき (別販品取付け時のみ)	▶ 「ピーピー」とブザーが鳴ったときは、水漏れなどの異常があります。 下記処置を行った後、すみやかに販売店にご連絡ください。 1. 止水せんを閉じる。 2. 配線用しゃ断器と本体の漏電しゃ断器を「切」にする。(漏水報知のブザー音が鳴りやみます)
その他	▶ ● 漏電しゃ断器が自動的に「切」になるとき ● 水漏れがあるとき まず止水せんを閉めてから、販売店にご連絡ください。

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、
お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
(BL認定品は本体2年間、ヒーター3年間)
ただし、“タンク”は5年間(水漏れ現象に適用)です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この電気温水器の補修用性能部品の、製造打ち切り後7年保有しています。
(BL認定品は10年保有しています)
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

12～13ページの「故障かな!？」に従って調べていただき、直らないときは必ず漏電しゃ断器を「切」にし、止水せんを閉め、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。次の修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品 名	電気温水器
品 番	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の お取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社(以下「当社」)は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報(以下「個人情報」)を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナル パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
<http://panasonic.co.jp/cs/japan>

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル  **0570-087-087**
(全国共通番号)

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口へ直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック お客様ご相談センター

365日/受付9時～20時

電話  **0120-878-365**

■携帯電話・PHSでのご利用は…**06-6907-1187**

FAX  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル  **0570-087-087**
(全国共通番号)

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口へ直接おかけください。

北海道地区		近畿地区	
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	帯広	帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151	函館	函館市西桔梗589番地241(函館流通センター内) ☎(0138)48-6631
東北地区		中国地区	
青森	青森市第二問屋町3-7-10 ☎(017)739-9712	宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	山形	山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
岩手	盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	福島	福島県安達郡本宮町字南/内65 ☎(0243)34-1301
首都圏地区		四国地区	
栃木	宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555	東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
群馬	高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109	山梨	甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
茨城	つくば市花畑2丁目8-1 ☎(029)864-8756	神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	新潟	新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171
千葉	千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034	九州地区	
中部地区		福岡	春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151
富山	富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	長崎	長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658
福井	福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606	大分	大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815
長野	松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)86-9209	宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213
静岡	静岡市西島765 ☎(054)287-9000	沖縄地区	
名古屋		熊本	熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
岐阜	岐阜市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225	天草	本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
岡山	岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719	鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010	大島	名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101
高山	高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613	沖縄地区	
三重	久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380	沖縄	浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0105

項目	品番	DH-150E1Z DH-150E1ZB	DH-200E1Z DH-200E1ZB
契約電力制度		深夜電力B	
使用電源		単相200 V	
定格	ヒーター	2.4 kW	2.4 kW
	その他	約6 W	
標準消費電力量※	「高」約85℃設定	約13 kWh/日	約18 kWh/日
	「中」約65℃設定	約8 kWh/日	約11 kWh/日
タンク容量		150 L	200 L
沸き上がり温度		「高」：約85℃ 「中」：約65℃	
発熱体		シーズヒーター	
温度制御・水温検知		負特性サーミスター	
安全装置		漏電しゃ断器・温度過昇防止器	
標準質量		40 kg (満水時190 kg)	46 kg (満水時246 kg)
付属品		脚部カバー	
漏水センサー(別販品)		品番 DH-KTM2	

※標準消費電力量は、沸き上げ温度85℃・給水温度15℃の条件で、タンク全量を1回沸き上げたときの値です。
沸き上げ温度65℃・給水温度24℃の条件で、タンク全量を1回沸き上げたときの値です。

愛情点検

長年ご使用の電気温水器の点検を！



こんな症状は
ありませんか？

- 運転中以外に逃し弁から水が漏れる。
- 本体、配管から水が漏れる。
- 漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。
- 正しい使用方法に従って使用されても不明な点がある。

以上のような症状のときは、
使用を中止し、故障や事故の
防止のため、必ず販売店
に点検を依頼してください。

便利メモ

おぼえのため
記入されると
便利です

お買い上げ日

年 月 日

品 番

DH-

販売店名

お客様ご相談窓口

☎ () -

☎ () -

松下電器産業株式会社 リビングサポートシステム事業部

〒639-1188 奈良県大和郡山市筒井町800番地

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) 2001

この取扱説明書は
再生紙を使用しています。

DH940A-928P2
S0301N2025